**3** \*

生業新

\* \* \*

\*明\*宣\*

國權國法の尊嚴維持は極めて緊要

選 田 首 相

の施政演説

顧みれば言言

## いて外相起つ

平北視察へ

國運の進

証言政策に限す いであつて、如 のであつて、如 のであつて、如 のであつて、如

機構の敗打すべきは敗一後標の敗打すべきは敗の質績を擧ぐることと

ることへなった組開日、渡く遺営ながら本年度電源において取開の新たな政策方はを十分長期するいとまなく後ので今回電源によいるのをはないのである。而して変行電源は被入機用とも二十十三億三百三十億四個との指数に提出されたものは三億六千二百三十萬

の電力特殊質点 四数をはかるへうると共に仮に

中の大きな、他つて単個の推移に 中の大きな機構の数計すべきは数 計してもつて地質的開発と機構と の間に生する隔離の割すべきは数 くきはもを上り高級ではを減くしてある。 、正解各層限の間やともすれ は、は一般ではをはり高級のことである。 、正解各層限の間やともすれ は、能力を終す。更は名別間に至り、 を展にする情勢を呈するに至り、 を展にする情勢を呈するに至り、 を展にする情勢を呈するに至り、 を展にする情勢を呈するに至り、 を展にする情勢と呈するに至り、 を展にする情勢にある。 でこの際を構め継での国策 を発してものが、といる。

現下の時間は質に

配に作用

本事情にあって政府によって解決を要する重大問題は正に及席に及ないといふも適言ではなく政府によっる事情にあって政府によって解決を要する重大問題は正に及及政府につる事を必要がある。 として現代との本籍を要の時間によって解決を要する方はになりましてなれる大部であって表に必要があって表に必要がある。 をしたをこれなれる大部であっために、須らく施政の指揮を開まるの者を表に、須らく施政の治性を開新しために、須らく施政の治性を開新した。 本ととこれなれる大部である。

國民生活

微動もせず

丁端熱す子内陸相

居るので

昭和十一年度能入

新し品 多らく施政の寄慣を開います。というは、日本の資を高い致力もつて興新しる場合を高いたいと会類する。そのにして現内院の趣言の存するところを派とせられ速に、高質を現へられんことを引至する次領である。

第一矢 田男起

のためでありいたのであり 窓の命令なりと信じて反角単に 地としては及い試徳におしまし る次第であります、途つてこ の演乱動に當りまして住邸と これを議會して命令に基づ行会 の責任の監慮を明かにして行会 の責任の監慮を明かにして行会 してゐる次第であります

響によって崇高 もし本事件の影

ある短民的支援を減率せしむるめ或は兵役義務者に副する理解なる兵役義務者に副する理解

就ての

いこれ 上なぎ

制せられるに至

被祭の刑事精神の形には我が園 被なる一部部小者の趣味する 風 かなる一部部小者の趣味する 見 がなる一部部小者の趣味する を見述すればするを選解とする の如何に始らず有も天皇 趣幹の の如何に始らず有も天皇 歌華の の報がその本前に学って供解を もつて唯下の重控を害ひ途に許 都の治安を撰寫数しましたこと ものまして流に消傷の極みでこ ざいます、先にも甲述べました **さすが、反乱行動にまじ並れる** ることはこれを認めるのであり に是止闘新を要するもの多々あ に至らしめた刻下の現狀は大い

鑑み深く自省自戒 我々は本事件に

との低つて来る原因を探究標立 これとを要除し更強一新大いに 東起を廃止して益を同軍の本機 を擴張してその精弾を誘題し具 を横張してはの情難を誘題し具 を横張しては、一部大いに はのほかに割せる場合し具 が高しておる次第でこさいます

+

「る質症のほか」 阿田町内閣は 逆速楽説問項に関わればです。 でき 図 田 武 彦男 (公) 愛密 平生文相の初答辯

・やうならば既に外務大臣の他 位に止まるべきでないと考へて るる現在でもようの階級よりの需領 決心だ、外組は終より原帝昭相 も同様の信念を以て事に第つて の形域に限大であるが事件 郷定の経過などの原稿が用条回復する。 一月事件の外属に及びし た影響は際に限大であるが事件 郷定の経過などの原格が判除する ものと信じてある

平生文化 鉄流機の主體

\*\*\*\*\*\*\*

が、天星にあることは明殿である。これに戻する受赦の課題は、これに戻する受赦の課題は、これに戻する受赦の課題は、あくこれを禁止してあるから教育界に有益な人材を作るのであるから教育界に有益な人材を作るのであるとが所集であると自己で實現に劣めの報りである。

かくて

天地支黃

数のお言葉を添く味はふべきだ を思はねばならない。 関連今日の隆昌は明治以來の 畏いことだ、朝野和脳文法一 ٥

はないが、既然のことだもの、するさうな、既てカソだとはい 戦時南景は午後最本間に臨力

果して何時まで高くことやら 石が認識になる基準工作が完成。支那では憲法(衆三市、將介

◇小説「思禿頭巾」本日休被◇ と、蔣は流石にえらいしたのだ、皇帝になりそこなの。

【東京電話】異例の畏き勅語を賜はり開院式當日より早くも非常な緊張を呈した今議會も漸

ふの貴院本會議

ひく鈴木政友會老總裁の姿が一入人目を惹いてゐる、廣田首相以下各閣僚の大臣席に着く 、本筋に入る、六日の貴族院本會議は注目の的となり開會前旣に傍廳席は大入滿員、杖を

を待つて午前十時十二分近備議長開會を宣し廣田首相を麾く、首相は悠々草稿を携へ演壇 に起つて施政方針を述べる、續いて有田外相の外交方針演説あり、終つて寺内陸相登壇す

に当番

續

任を等うし、こゝに政府所信の任を等うし、こゝに政府所信の一年でしるべき筈であつたが過程した。

**売食能は1第六十九般脂酸酸に** 

東距の安定力たらん

有田外相の外交方針演説

滿洲國外蒙

イギリスに

可分を基調に

日米兩國の

作選進するにある に選進するにある に選び現状に十分 に関いています。 に関いています。 に関いています。 に関いています。 に関いています。 に対しています。 には、ついます。 には、こいます。 には、これます。 には、これまま。 には、これまま。 には、これまま。 には、これま。 には、これまま。 には、これまま。 には、これまま。 には、これまま。 には、これまま。 には、これ

石 の熱心なる の熱心なる

制廢止

て朝令を以て公里を破りに

を検索した。一般案を得たのて六日左の 後三種をまず毎に一名以民、重輔四合につき一名

de de la company de la comp La company de la company d

鮮寫眞聯

により運轉手連の収入は相當級に

入城仁川觀察後八日夜安東へ 高百四十四名六日午後六時十分 本著天加沙鄰常小學校 岩下宴氏

文里西方の湯原縣常案用に居住の

日を誓うの他を願され他の節氏は「日本附外耶説にこれ等遺族の数偶(中、男廿(名)は光體に歐發さ「けころるが厭地仏蘭朝鮮人會は六

湯原縣の朝鮮人部落襲はる

れ家盛亡の他を駆けれ他の部民は

**尿畿道から發表さる** 

ーター制と共に

時五十五分入域金剛山へ十六日 東得相氏ら廿五名 十日午後九 東得編野将院主催金剛山採將蘭 域同夜華天へ

**日午創十時五十分内地へ十五「徳島縣生れの前科六旭井上忠猷と城公守職業発校七十五名」十** 

本町署に御用

關係の側面に衝突トラックは大砂 面より部態して来たトラックが様

二書即死、他一名は重要を買び機

廿八名慘殺さる

十三名 八日午前七時廿五分入裡甲準経受検修老由定剛氏ら九

分は高調する、午後は愈よトーナ の観古相撲に引退した大の里も顧

を出して、燃塩の計け聲に相撲音

メントの段勝戦が取けられる

館の芸部器もまじつて午前中早く初日にまづ本祭、新祭や天稲徒候

クト

" 列車衝突

一人即死一人重傷す

も八分の入り、天龍以下人類力士

出して入口でひしめき合つてゐる 小面には早朝から相撲ファンが繰

は5至4てイタリー第に2番にた、栗は金敵し、市内外とも全人戦闘に従い。彼は翌の家々には平常の郷に悪ごもた。真に、指軍でに三萬のイタリー兵が市内に入り王宮、無電局、停車場その他各要所を悉く占領した。上政バに入城し、直ちにイニリー公使舘跡に國旗を立てこゝに總司令部を移した。 午後十時まに11日担当 東阿遠征イタリー軍總司令官バトリオ將軍は五日午後六時自動車でアギザベー・1年1月2日

エチオピア首都に

伊軍堂々と私

バ將軍三萬の軍を率る

王宮及要所を占領

され、この日首相の演説を聞かんと谷地の版場に集まったものは二 干部人に及んだと辞せられてゐる。ムッソリーニ首相の複数要言左 タリーのファシスト関資

きに至った、よッソリー三首相の軍富はラデオを通じて全國に放送。向ったのは耐く八時、その間しばく一民衆の数字に中立するの已な

はし、十分間は民衆の歌呼の聲に民立在生するほかなく、マイクに

余は更につけ加へなければならぬは既然と称りなきを得ない。 学和、我等の平和はヨーロッパの平和なのだ余は更につけ加へなければならぬ

第に表現される平和が今日の平和なのだ 第に表現される平和が今日の平和なのだ 第に表現される平和が今日の平和なのだ

▲ 洗吃會鮮海灣祭園期口菊藝氏ら | 分入城間夜本深潮へ| | 十一名 | 十二日午前七時四十五日夕鷄城

エチオピアはイメリーのものだ

※樂と軍歌(東)韓軍月山學 授軍樂隊▲八時二五分落簡 順亭燕路▲八時五〇分浪花 節(東)未慶友若

整線の際 バイキングに 薫風の

ic

分祿演土橋光太郎▲八時吹 講座(東)慶谷泉▲七時三〇 恭經 英 既 董▲六時二五分 基礎 英 既

歷史

派な希さんは最初の約束は 富嶽の爺さん(\*)の妾となつた

のの、最近第三菱に狂び出した際

あるからあの山まで楽いっと裏山、年は京城町観町洗確証さんの三男組の少年が現れっない「寸組版が、めて崩山野に引き盛した。この歌組の少年が現れっない「寸組版が、めて崩山野に引き盛した。この歌 府浪神武門前連動場の一隅で資上 行商率市番台「こが聞宅の途中本 当の動産をしてあると、実知三人 、連れ込みを今勘定してゐた野上 1夕七時国原城花洞町三八果初 京城に江入道場から飛び込まらと 待つと・・六日午町一時頃

は京城阿健町洪命祚さんの

全般天氣豫報了

開北 同 右 同右 同右 闸 量 Ħ

京城地方 『今晩』は曇り

**順電君(ごど)で父に叱られたため** 

墨時を簡得上は落がかくる は明日】 「今晩」は誤 各食料品店酒店にあり 今- 東京で 評判の美味



全朝鮮寫眞聯盟

Ħ

京城では左記により商業美術富真の撮影會や開催しますから多數飼器加願ひます 撮影會特別の関で キリンピール會社第 四 部 まで要思想公園で 皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋

京城黄金町入口 日本生命室 い 歴史 Lい經營のガラスヤ MITAMBSA SERVICE 湖子と鏡に関する一切 ガラスヤミタマサ 三田政商店

百城 本町三丁目

戦争は終了したと宣言する。 の男子並に労働者に全イタリー国民を代表して混心底湖の意を述います。 いたを確保するに監つて低に一大状態をもつて断手防衛するの決定が保健信して延はないものである…… ないた確保するに監つて低に一大状態をもつて断手防衛するの決定がはコーロッパにおけるである。 が発達信して延はないものである。 の男子並に労働者に全イタリー国民を代表して混心底域であると今日 会域信して延はないものである。 約し今日に至るもこの誓約を発芽し来つたオピア戦争を欧洲戦争たらしめないためあ 首部に入城したとの公電に送した (アデザイズ地方時間) 歩三章々 イタリー軍は遂に五日午後四時頃 への正郊に班者して信機中なりし **村営局はエテオビア首部プチザベ** 

金剛山には 續くのであらう という はいかい かんしゅう できない しかし 原列 総計 最後の 目標は未だ 違い にの目的に向つて今後平和裡に 勇強と 唯信と決意をもつて 前進を えゃは 今中休息の 複會に 到達した 荷主黃海区羅維郡馬山圖溫泉里州

日、道局省電によると
に、め出足が纏つてある折幌、六路、万百名で例年より製派が長かつ **塩開業することになった** 原稿とのことで久米山胜も上五日 けぬ

題すしく唱り響く、六日から京城 された被害。清は神戸館間の瓷産

の青星を衝いてやぐら太鼓が「と前内出版」でして霧山詐欺で搬撃

大角力始ま

月下線道局申込みのものは続け監

山胡きした金剛山の採贈客は また雪

ゐる時、 將來は又心住宅も建てて

一年則妓生としてちやほやされて

離解に際し御挨

やらう、何んでも君の欲するもの

ならしてやらら……などと、既る

を家人が避見手當したが生命情

寄さん(\*!」が服務者関してあるの六日平前三時振鞴繋町一一三金版

御客

昭和十一年五月六日

京 城

府 民

器

毒をのむ女

一日文け休まして頂きます富食堂従業員慰安の爲め勝手なが。謹

**蓋あけの脳西大相撲、地町の掛け「新連で倒ねは五千熊側に遠してゐ」** 

き「のアム」が少里が、| 程東間の | 面盤上車航電機でも助手師面坪里 | 五日午後に時五一七分ころ奪犬ゆ | 育里金秀飯民所有で、運輸手は鼠 君が強盗と呼ぶや・生意気なまわ

**義州四道麓のを組造の驍沙皇院方|朴金燕三三で即光・周楽してふた「安のて所得は一団五十二銭に帰始さってころ」カ沙皇所・長東帯と「高島」皇皇藩選(三郎寺眞藤町皇)とてるな。とませれを嘆ませ自に** 

みやがにツルチュク書でたが大喜び

*ከባሀባ ደ* 

七月上旬京城三越にて開催の 工事内撮影の際は正門受存にて食員意提水の事へ期日態更の際は京城日報鉱上にて義美するのでは、十六 日、 十三 日 は義州語幕頭局語道工事で撮影の領倉がありますからお出で下さい。 工場撮影日

十日の撮影會場

**奨忠壇事務所の上方及び博文寺下の寳六庵後庭** 

最高世銭ら成績を清査し昇納せ、厚給六々月毎に最低ご難からは月四十五圓以上定す

参加資格者 全朝鮮へタウト、清涼飲料水(同)

『三頭蜂窩質縁盟塞務所』、御申込みのこと
「三頭蜂窩質縁盟塞務所』、御申込みのこと
「三頭蜂窩質縁盟塞務所」、御申込みのこと

精動官・

門副香動者は五面

しくは字面を貞摘、但し、紺色語機とし經營者で

商業美術寫眞懸賞募集

初任給日給一種以外の

たときは翌日の出勤時によ、公休日に、三時間以一ヶ月五日以上輪番公

敬算しか月間無事故者は

第三部 サツボロビール株式會社製品・+リコウニウ 郷油、マルニウ緑油、みやこ味噌(同)

審查員

審查發表 六月三十日

(工事及政備等にても差支なし)。「朝鮮總督府事賣局製品」「陸草、人蔘製

昭

(廣告及 宣傳として 價値あ临和十一年六月二十日迄

部・キリンビール株式會社製品 ヒーキサッポロビール、高級飲料が(間)

Н

二十四日、三十一日)にはモデル提供

開始可屬黑壓這工作

日(土)井二日(土)州日(土)サッポロビール富紅原にキリンピール寛虹の永号浦

H Н

十時より午後四時まれ、光彩町祭鞭局(午町八十年)十時より午後の一年の十時より午後

開放可能呈壓岩工器

翼

局部

島郷

屋部

サフボロビール會社第

伊軍は遂に 首都に入城

【ロンドン五日電通】 イギリス戦

二章太優(ころう)名で何れる私付 さたので調べると、京城通義町

ものといつてある

きの不良でギャング映画を真似た

SERVICE

カタロゲ星

MITAMASA SERVICE MISと鏡に関する一切 ガラスヤミタマサ

明治三十一年 創 三田政商店

方城 本町 = JB

幸工に

原産液へとロル

マヨネーズ

り(明七日) 食 堂 老衰の豫防

ととが大切です。

剤は

朝道じる

骷

七日ヨリ十二日マデ

滿

夫子夫

Ì

錠

**都** 

櫻開城溝月台

短嗣の羅律に

坑夫の

今度はチフス

種痘と豫防注射で

防疫陣强化に躍起

出した西に今世は羅迦日頭景脈時一日以来随角的中日調査を翻訳中で「羅津」一時に三名の原復、監査と一定され、曹宗富局では重大記し二

日以来最高的日口調査を纏腹中で

遊は抗夫六名の生命を奪つたが、一遊は抗夫六名の生命を奪つたが、

平面大局部 常題面機能無関域三種 ルコール中部にかより、かてよ肌

へて病魔ご見郷はれ身屋の自由を

き二日後寒に跳を買はせて家族楽一遊河院へ運ばれ手當を受けてゐる

日満の固

を定めかなは以身で出功能丁を磨

して出た、刺された湛は直もに鑑りの手を崇伸べること、なつてゐるく!、太和町の水上。田田所に自首」で清建紫人專相談部では温い級の | 寸子供等に泣き時ばれて心臓り症 | 日の食事にも窮する狀態にあるの

【辛雄】 照票――五百年前零時頃 | てゐる金大一年』は歌年前からて | の話しみを斷つためにを振い塾情

|家庭辺臓……時内巴町三に居住し

た蘇りにも臨ましい人生ドン底の

三神洞炭境

『人高生銀(人)がバラチフスと診 あるが更に非町飲食店金融見(三)

六日懇懇にあたる旅内領里一一八一加した、左任李任平原江西都里戦||千人に實施すべく記岐中である版理が開陳地自教||上任非年中に1月||三日平配して出本歌都建築市が戦||大の混合リクチン津齢を称:周五れた――平郷府上水口里一八八電||ることをこの密華二製成が援切し||し六月中には終ナフス及バラチフれた――平郷府上水口里一八八電||

プラリ部状犯人が天津で連捕さ 化した金により人組織を驚んでる 五月中に関に五千名に極層を帰行 を防避し五十七百圓をせしめた。るがその後埋在により天津で譲渡 | 約八千名に佩庇を施行して来た外

第4照の団魔と超影の駆戦を偽造。面新る里の生れで平場魔器の明身 | に昨年中に於ける邑内傳築最親生 して強症銀行不振支店より上地と 講習所を必求し昭和七年四月まで 数は断チフス、バラテフスを影響

**慶を延當として五千七百間を許。間夜の助手をしてゐたものである。に九十七名の多数に上つてゐる** 

| 〒製||金に弱したはて他人の印 取し行方を輝ましてゐたものであ||も獅チフス風者と傾明、三月以来

節な妻に涙

家心中を企てた廢人 哀れ重傷を負はせて泣く

# 瓜二つの青年二人

やくつで弱れをさそつてゐた 紅匪を退治

かも互ひにつゆ知らず裁きの日を待つ

## "双生兒」の犯罪綺談

に毎届の身となったものである。 で海洋や成群市の相互で で海洋や成群市の相互で で海洋や成群市が開発である。 が成立してのためである。 が成立してのためである。 が成立してのためである。 が成立してのためである。 が成立してのたが開入に関 にはこれを全然知らしてゐない で海洋や成群市が用入に関 

二十一歳の青年があつた。

隣原軍に攻撃され死體十四箇、 交派時候、死體一體を登塞して置 万面に激退された紅軍程司令の 七十名は四日午後二時ころ興京縣 数百五十名は二日午前十時ころ同 の紅軍援司令と王興融の合體監約 した、また通じ緊北部に潜援す は担し緊急發展のため同盟界

全市戦害に別く

| 一角子へ管正今座は羅州線から閉路|| 「新らず再び思へ収落したもので見ところがこの南手を収容した同称」がれ起き保線となつてある豊にもし風雨の身とカッキャで

一般の領古祖雄といる音楽が概節犯人としてこれも二十一

に贖罪の日を送つてみるといふこ も同様患に走つて今この嫌駄の中

事験も製込むことになったので敵の経験で英處を三切解散し、生後となほこの日能與として成山電氣・本質原すに選続期、般電所、純宅建設の工、後に密通製技を懸に集合、射部寺、夜山道のため英蔵を三端陽療した・本質原す **に選続場、総前所、心宅建設の工、後に空運學技々態に集合、将部号(2011年)の経営でそれた、総由と「中日副直を實施し近く臨歴仲間を生水体的影響であれる。」 中日副直を實施し近く職権が関連的、今至三月には雑誌を増散し、使、三窓信取、商工職員及び、般、あつて開ぶ、後りに上日藤後及び「歴史の北があるので」實に随着飯地の、今至三月には雑誌を増散し、使、三窓信取、商工職員及び、般、あつて開ぶ、後りに上日藤後及び「歴史の北があるので」實に随着飯人の・至三月には雑誌を増散し、使、三窓信取、商工職員及び、般** 響の地元党山では面及び商工館の「零時半から聖校を感に設けられた」「會社制を電點に銀山軍務所まで」大量である と保護を開始することゝなり節制。時神(戦で)南郷率伝奈を行ひ、同十一上戸子雕綵長の紀前、祝竜接属、田は崔紫正篆が興の波に纏つて愈、大に懸行した、當日は先づ年明十一主総が代表の戦命上號副党長龍に日は崔紫正篆 第の三菱茂山麓の含且ないし開蘇県窓島町館を鑑っる第二日名を指示・最近に終り、第の三菱の山麓の含ましたい一神神寺寺会長、同野館県に三窓地館及び軍首は青

大金詐取して逃晦

悠々と商賣營む

天津で人絹商に早變りした

インテリ犯人就縛

に 十解名の観音を出したが繁繁常局 に 十解名の観音を出したが繁繁常局 【限果】部内の度適は去る三月十

原名猖獗 ちないことで、この世は第一斉位の御力に始 良衆に勝へ、また徹底

ルに「治・六日年町五壁五十一分 【温川】去る『日午後響壁三十分を任大臣一行は間後やマト・ホテー 二次 プロ・グロコ 漣川の火事

モヒに華やかな過去夢みて 密輸中移動班の炯眼に捕る

年增妓生に浮世佗し 三国で質 飛ばしさらに 二月二出し本町八四自動車店尹昌極へ ついけ数ひを求めて大聲を立 と窓刀を突き付けて設すぞと

恐怖の股果

当今後とも 牡彤江経由臨低する話院たわばな ご言れに一注し 七月

の中に華かな生活を送つたが寄る 時は遊客間に薬帽しき人気あり夢 影調べたところ意外な所にモルヒ 一角を隠匿してゐるのを越見 例形が日馬解附近を逃行 製造の衝鮮が人の場動に不能

しこと」なればこの一家は総も関「軍の構となり素なくこととした日本のであた真なが再び起てな」からそとの裏部に陥つて割日く夢供となってあた真なが再び起てな」からそとの裏部に陥って割日く夢にといる。 もので規模装女も同日瞬前派出所

雪ともいへるその道理にこれはま「切れる関もなく派…中?な赤灰の」しかし震臥に力も失せた身で一點「樹となつてゐた原なが軽び越てなれば著は名ぼかりで結局書のない」の超極で都る収入で大世帯を遊ひ「従って先す寒の喧噪元を刺した、」うとみられてゐる、なほ一案の支

ドン低に陥つてゐたが金大一は病 ひにその目的を選することが出來

床からこれを見るに扱びず裏や子

【遷渡】優のない道部であつてみ一人の棚口を支へてゐた、しかし女」しくこれを食べ間後膳館まるのを一が類る重脳で恐らく一命は危から

倉庫を破り

14.10

の二代を自供したが熊卵ある見込 気で行動を注がしてるたが、歴史 **九日朝起訴辦章となり、その後警** 2001日は影響で活局され二月十 の類々たる空重ねらひから三日間 [2] B內本町四〇勞國省李泉

延吉を訪れて抱負を語る 姑の告げ口を真にうけ

川県省は、松下總統郡長を始め、

で新京を出路・同午町十時起音派の新宮を帯洞五日午町八時飛行場 1個に対容・禁険員の意成連に示

延吉特館」器司法部大臣は木村

東満視察の憑司法部大臣

縛り上げて 全身を削

嫉妬男の妻いぢめ

のでつび悪心を起し子選系を容品 **江窗の上間廷、事質鑑理に際しぬ** 第一製法廷で小川級特長係堪僚事 以事件の公割は去る四日**法院**支融 国商を拠いて商品三千五百餘圏の 引動しを受けこれを覆ちに晩知、 って一個けを夢みたが資金がない 「定州」商質には失敗し海洲に修 洞盆料雑貨商が最間に置する館 州へ高飛びした定州軍馬山面派

一やうやく否が配つて優が失いた てご配る、早くも日の思いのが 国費丸ナ協會理事、冬服を召し といへば元献南州著 語の名人、瀬早やにする氏は人も知る 客長、恐煙石里 ものでパナマ前に 0長、五日消防豚 圏に音馴染で出 呈進くなれ洩品景 漬 抽籤其他 優待期日 參 桐籐 フゥ 等 旅等トモ阿希照ノ品一個ヲ御自由ニ難定) 椅 ラ 等 タブ 小 (男物、又八女物牙御自由二撰定)染浴 衣地 壹 反 買百 子壹 耞 全國日刊新聞知昭和拾壹年八日 昭和拾養年七月末日达 型 七百五拾名禄 也百 Ē 松 蓄音 節ッ 浦 名 名 商店香鞋 形ン機笥ト 檬 紅上二發八月中旬抽 壹

火の不過末からで観問は初四十個 困つて詐欺 懲役一年半

ドバツク手帳一冊宛洩れなく譲呈の品一箇御買上毎に絹表紙優美ハンビタオール整髪料各製品五拾錢以上 更に同封の抽籤券により左記大賞品

愛用者優待方法

壹壹壹壹壹

個臺臺本組

壹壹壹五壹

臺臺揃帖組

大品

飯部

表 繳

記し色を塗った後に氷の失望と苦一切八つ雙、風をべる歳など描きま

話では、その美しさの半分も儲けて頂きましたが私のそうな下手な

へない実しい調度を一つ

峯崎晴子さん

ン九十三、早く三階へ御案内しな |

田シみ子で

9

語る

競争の最高増駐展めざして輸入作家の言題は

際に第一線を行く人々の総心さばまた格師で

例年めざましい部塔の閻秀作家の中

簋眞上から降崎(右)西岡(左)沿崎、山田さんある、 次の四人は半島女流謫辺の明星たちだ

ついく

8)

0/ 1/0

しいトアルに向った時の計談と希 松崎喜美さん

と述び「一般年候年間じことを終したがどれ、『ルカトのはありま』ませんので、只能親で美しい色調

せんので人選出来すかどうかわ

たいと言心した種もです。その人

採出来させんので今年は例年に比

産 数を一覧出品したいと思って居、 境が変更がでありますが、本年に配 りますが、本年に配

のなんのと…。

イヤ御義一方の九十郎、蜀つた

でハイ、有り縋ら、好いおこ

「どうも困つたナ、急に生死の別、「左侯でござるかナ」

西岡熈枝さん

返して年をとつし行きます。

仕事も選々として辿みません。

Bの砂波はと云 は結局は健康増 大概に於ては大川小葉でありまし

へた通りである、そこで結核に罹しの健康法が紹介せられて思るが、

新鮮しい

い至氣に觸れ目光に當り

以上述べた様な理由から近年色々

健康増進の方法

通りであります。最も効果のある方法は、大農民の 手数もかといずして誰にでもでき て、その中で金も要らず大ヶ敷い

氣分を囲かに心を平和に保つ

一環でするものでないことは明に述 ります、事質に抗力さい強いれば て置くことが最も大切なことであ

しも之に打勝つだけの機力を作つ

展別の第一要件は限令部が使入つ一

進の方法即も確を丈夫にする方法

結核豫防の

秘訣

より他にないと云ふことになるの

まづ體の下

地をつ

は身

畫

表發會協防豫

連作・シンシン

る下の(スポーツを)第川原くにを







宮ロシア……

自分たちの仕事をやつとすました。れました、その都館の中でどんど一 にご用心なさん啖つ

死神の

使

首個にうよ

ホワイト・シーから大平洋に至る | で風で運ばれたのでした、何干と 留地で各を過した六百人のロシア のやうな国では馬は大変役に立つ 北極の航路に沿ふ七十七ヶ所の居 くことが重大に考べられてゐます もので、こんな風に数の滅つて行 いのです。非常に置々したロシア ロシアの馬の敷は千六百萬頭より くなつてゐます。その總数は二 ・前の器敷の七分の三に過ぎな から六哩神の汽船は蟋蟀の大非に シドニイとメルボーンの間の海岸 火のために地上から遊はれ海にま 遭ひました。これらの誘撃は戦の 石の近くです

人は消象の狀態を確覚する冬季の一石血がオクラホマの地底に健慰さ ☆アメリカ:都簡に薄き出る石油

實は神簡奥五郎がニヤノ〜笑ひな

即も……

失頭右衛門七も頷いて德利集め、

衛門の撤助を供に連れて店を出で

思義のためとて少しも既は以の

航路出

お館に間はれて香頭の風兵衛、

が産れましたので電衣を一つ鋭つ

て選ららと思ふのですが、御存じ 「贾は全度」私。の兄の家で女の子

タマレイ····・自然公覧 ところです ではジョージ陛下の名的をつけた **馬來半島のパーングのチェルアイ 旧用のハンガローを建てようと** る公園を訪れる人々のために を石曲で吹きかけてゐるのです の石山電出孔は實際この州の首都 動腎起重能が度の外限を低はねばん石。脈が行はれてゐるので風い いらがと心配されてゐます。

で 変優大阪佐江 京 江州建行費原 行

呎もあり、洞窟の多い大きな石灰 | 島で係り湿山殖えて來ました、こ **夕西インド諸島……砂糖栽培地を** れらの山羊は砂糖栽培地の若枝を 山羊が西インド諸島のヴアージン

してゐます。その用地は爲と二十

喰ひ元すので整造器は山羊を迫ひ

提はうと苦心してゐます 

▲シェバードが迷ひ込んでるます (丁子屋底務課等) ▲高小卒廿二

高商生(竹添町二の一〇〇大西) 厳身能強健にして如何なる仕事に でも御採用下さい。京城選并町二

「何用と仰つしやるのは、

どうぞ、二階へ 問野金前門。

この間も数へた通り 美ひながら異五郎は矢田五郎左

中一順一工

月五十

日日

點はお互びに際に必得て置くべき 正し得るのでありますから、此の

凡こんな動かと二三反取器せて二二

ければバッが悪い、丸十郎には弱

湖游曹、北

『脳に行く先もないが、はづされ

代化料数の

神崎氏これから何處へ参う。 機助の矢田五郎左衛門は歩きな 総拾ひに田たが、これも

トーつ見立て、下さいませんか、 際に置いてあるのですが、チョッ いくれる番がありません、マア大

結長は私が力さく帰ければ衝撃す 療養の必要

殊に右の中でも特に第一に最も重

きを置くとが必要であると思ひま

せて、腹切せず、不平を掴かず職く 長澤当取自人に続いて調査したと 最も大きな影響があるからであり、それは心の浮ち方が倒聴上に ます、近い例は心配の多い時は節 しく繋へることはよく知られてる 皇歌も戦巡し長く割けば島鹿が着一 日が青日くなり、呼吸も遠くなり| が、何れも何事にも明正 郷る見込がある。 それは弱くの医師の避職すると は顔に述べた通りであります。 す、今元の一例を駆けて記ますれ に旅遊に努むれば大部分は充分治 すが、連ぶく歴業しても早い時期 るものでないことと、見方によつ 縦も之れを示して居るのでありゃ ては治癒り易い病気であること、 影然の中には<br />
迅流力が弱くして ことを、よく理解

●阪 神 行(船祭 五月八 日第三天寶九 五月八 日第三天寶九 ●京 演 第一新井九 四月廿七日 昭 光 月

二稱井丸 群山寄港二天寶丸 群山寄港

◎これこそ最も

新らしい魅力

をもつた近代

的新化粧料で

度日州日 基間 江

世、北海道、支那、 東 丸 國南祁山

●ビチ〈~と元

されてゐるの代女性に愛好氣で明朗な近

も當然です

**入阪商船縣出帆** 

息けるには長春を保つた例はない

を抱き勝ちた人、願くことを概ふ

五、暴飲器食を慣み胃腸を丈夫に

六、歯の衛生を選んに食物はなる

その中に深い。原理のあるとを悟らた平凡なことの様でありますが、 等でありまして、何れも割りきつ 七、住宅は明るく清潔にすること

なければようよいのであります。「自年素つい顔や、修養によつて郷」しても、早く

一般によることではありますが、 く、その人の境遇や生れつきの軍 四、起臥の時間を守り後史かし歴

時も関かな言分で暮す人ばかりで

類度の連動によりて心も能も

不足を避けて腫脹を充分にする

は多少語大に進るところはあると となってるます、勿範之等の報告 表すればその大部 れだけ成談。構ひなくお上がりなすつて御殿下 分は治癒す ゆことと でなければ触りません、どうぞお しで、毎日勝霧場へ出掛けて夕方

が良好であ するのであしんが、報記させて題きます」 『わたしに物るかどうか知れませ』『あなたお一人の所へ上がつて

北早期診断一へ湖案内しておくれ、反動はソレ 戸棚の中に入れてあるから出して るからナ、留守を頼むよ、極助や 他は米源町まで用達 しに行つてく おまへは他と一緒に行つてくれ、

解りに買物があるから、七やおま」ことを云つて居る。 は凛利を集めて來す、それでは こそれから 『アノ何と仰つしゃつて』

そうな、怖いやうな、妙な気持ち ここ配へお上がり下さい』 お艶は盛しいやうな、 段重な時間をお互ひに下らない

よろしらございますか」 して居たが、耐く口を聞いて 一へエー、宜しいこともありす



市語七二番·九八四番(入和) 株式會社 度 日 組 株式會社 度 日 組

話に避された九十郎、モグノ











タンゴドーランは只一 ない。 ないの歌をクリームと に化粧崩れしたいス ジーデーな理想的化粧 としたいて紹 がであります。

色

(京隋-贤大)

十 明新爽早淡白肌 錢朗酢健晚紅 色色色色色色色

COPOLIS N

明確御鉛無所聽試生術省務內

品妹姉 (色七)

白初の欠點を完全になくした理想品

全國百貨店の競局、化粧品店にあり

形タンコドーラ、

### F

局者の

映圖檢閱口報 (四日)

(制限時間各八時間)



全日本版

ーサル特作映

新山五郎正宗 《深陽之助 酒井榮子·清川莊 《深陽之助 酒井榮子·清川莊 《深陽之助 酒井榮子·清川莊 《深陽之助 酒井榮子·清川莊 《深陽之助 酒井榮子·清川莊 《宋庙子 《宋本》(宋本)

水晶光代の道この道

風森の石

與太者と若夫婦

◇四回、釉 渡原投源、早川四球保 別二般、育津中別安行したが外 級 山三飛、銀の遮海は有津を一封 級 山三飛、銀の遮海は有津を一封 が 古回 (釉) 牧野一飛、佐田四球 で出で、中島の石炭綿安行で一 土 進したが石ラーー・1の時マッ 本 大を穫られ損手奈輔に刺さる サズを穫られ損手奈輔に刺さる

水招待の

赤坂小梅一行入城

七、八兩夜府民館で

ねた京電

(種) 山谷三振の優季第

京城花変質と味質共催の選昨文章

若草映画劇場 新華中央画劇場

觀

II.

身

服 用

あ Ø

のみのコバタ

銀元十個定りまれに店獲品性化草煙



湖 想 保 かかかか 獅家の中でも、蠶一

70人ピア高島 浮版 4 み ħ

3キャリオカ 6 喇嘛の踊り と上海 リル 5 チャルエトンタル

社會式株菓製汞森 催主





/兩目午後七時

山江

ほんとにそ

う な ら 男

dr.

ば名た

ダンス **選旅しと願りまくります** 帝都帯興舞踊界の第一人者、舞

7

擦らいで さのそりと歯を しい のそり皆さんはお忙 げませら…が つさと磨き上 スモカの發順

痛

岩里天然堂

藤高 結製 特價二三0 森岩

緒 間版 第 特價七五〇 **途**幣切頭岸

**呼を加へた経過従来資惠門の好日四書・定價八十鐘、送料十六餘時間所援損在兼員養成所の英語放弃書『經過會話』に熟書路の**問

東亞經濟調查局編纂

特價二·三〇

特價二:三〇八年

画面との **豪華** 

小憩《真 が 説 が ち や 重 役 中 野 落語 人里式盒 權意 小説意地、張り地蔵沢舞 の一段マシヤール

**(原五十銭** (200) (東京原 大日本雄精會講談) (100) (東京原 大日本雄精會講談) (100) (東京原 大日本雄精會講談) (100) (東京原 大日本雄精會) (東京原 100) (東京

文壇の名將
川口松太郎
上では、小が違うだが、様って
とこれの解解、風人の親の係含と
即く。北島盛一本で職地に乗込
んた大原剛、悪してうまく娘
んた大原剛、悪してうまく娘

質明 …素晴しく配白い名形置ばかり 色制漫画大レビュー館

小説光の道(正雄)

小統敵計橫河原等

小説(甘の姫君(菊池) 東京県 大野山県の開発メモー男を第7里と開催 難信夫の常吉歸岬

小說中子島流遊

キング大娛樂園 一村武羅夫先生の一村武羅夫先生の

めてつて糖の質は蔵と深さり波瀾また波瀾。からわか春人の如く様痒・由ま子。この三人を設治。以治をひそかに至よすみれの抹気質、は、以治のな気質、は  鮮滿拓殖會社總裁

很 吉 忠

氏か

朝鮮に南洲移民機関たる鮮南五殖原社の總裁に武して は本府では中央貿局及び賦界方面の意見を参削して目 下東上中の今井田政務總監の手で設飾中であるが、

# 國庫收入の増加をはかることが必要

院に於る馬場蔵相 0



温敷目の財政前設左の如上東京電話】六日紫巌院における

西行政が並に追加策算の合計

|| 比較すると二千五二十餘萬國、これを開は嵌入蔵出共に二

即ち一節進送上にある我國行を必要とするのである

将來蔵出の減少を豫

税制政正等により普通税 てしては國防 充實その他増加を綴つてもこれのみを

一致形は金融

高工 銀合中央金龍を設

策を満究中であるが中小で、政府に於ても目下と

政府はこの際収録今園屋 皮肉

まじり

**収刷新などに関し質問する** 止剤氏(政友)が順単問題、文 いで寶隆隆天氏(民政)安修

棟居事務官東上

## 質問を展開

第二陣の濱田國松

氏

ものか、廣田首相は陸相の窓向以なら陸軍の謝軍も實行出來ね を承知した上で開原に奏論した

林法相

問題は間心の一て居る、裁判所については目下



假の振風彫縁の題意識を引用

議場は嬉しがる、最後二・二六事

寺內陸相

たのは破壊を要ものである。現代に起つ國政の戦に起つ國政の

◆山中徳山燃料廠長 六日菊入埔柳曾總會へ

**八城天區地、七日大連帝國體道 保平源發氏(羅島賈萊家)六日** 

最例

は歴々鬱政の確立、議會

不明であることは残念である、あるところで、之れが僅かでもめるところで、之れが僅かでもい、我國體觀念は教育物語層面及

平生文相

種々の方法を考がるための数型

◇時實本配社長

六日午後三時夏

夕刊後の市况

Ħ

第一陣を承つて小山氏地つ

我國資本主義是正の要命は分

密會

【東京電話】衆議院の確定の誠に

日配を延期し間

□ の 前に入る、年後七年二十五分被害 □ の で質問を打引り、午後五時被害 で り 「不確定なものもあるが」と踏 \$ 七四八 先

一不不不 安壁艇艇

当八

どうしても笑ひ

◆自石敷粉隔単形官 | 欧米より齢 朝七日午後三時二十分京城縣着

活型校宫制收正 所除令 一、随有財産法 一、 所以令 一、转物

条を排へ 健居本防管 親全事務官 は六日午後三時上京した月末職任 の選定、特別談督に提示される事 なる職案は 到启安大公司*Bi* 

富田 議長 二月事件につ 民職就より「我々を馬鹿にしては

の質問者を描く

「菩願!」と促されても立たず、

事件以設は已むを得ない事情にある。二月 と答案し、思選奪相、有田外相は

潮内相 意象機關に對してある、二月産りに輻射を加ふべからざるこ

今のとこうまだ解除の時機に選して居らぬ、その事情は殴組から後到新明する

戒臓令は只

る馬山池に對しかねて敗修祀逝を遊水部、産業朝鮮の中福部門を掘 間線と見られる機窟線の健者取 質析では日韓連絡のキーボイン

態めてゐたが、いよく、昭和十一

船舶が築に極着け出來る大樓器

らく、と進歩してのの複様であるなど指動中であるが、新津地はするとが、新津地はす

中央との 豫算折衝順調に進む

議會後總辭順

る機能である

算は大陸一千五百萬國見當であつ し、闘を線の補助線として日南に水港には防波堤を増築

五日夜半に亘り緊急隔離を開催して、リ六日准 四 フランス政府は フラン低財前その他器選組後 べ歳相は
出る

結果、トルコ戦府のダーダキルスー結成の態などに闖し閣議を受けた

なつた

を來る迪常融館に提出することと

中樞院参議の大牛

商国を中心とする肝臓の國際機能

に於て質問され、ゼーゼネルス・ 重りユーコースラーガイア外務省

に働しいませる買人金級技を現行

明十一時半今期報館館期延長に願

なるのみならず、衆議院が奥始った、しかしてそのは、現下非常の秋に當りて重要めこれが觀察を意は、現下非常の秋に當りて重要めこれが觀察を意と思すとにおける。

その野野左の通り する決議案を楽職院に提出した。

め如何に特勵を知すと云へども一新これが慎重策議に皆るがた

班延長の手續すをとるべし

税制整理の

おそらく園系観力による説識の中れが調機策として馬墨靏相は今後

部委員長 子 立花和忠(研究) 委員長 男 東久世報雄(公正)決定委員會

委員長 男 周布策道(公正)員長 伯 酒井忠正(研究)

人法に使り政府が日戯の金質入れ

【東京電話】日銀の金買入償配の | 電に依れば 『句参事官はカッロフ

極限が長と五日の意見に於て

**吐大黛が提出** 

協商國理事語は五世午前午後に

國理事會

n

カン協商

法改正法律案

農業交渉の威行は注目されてゐる で目割に最後の段階に入った日産

日銀の金買入

の新事態に対応する方針につき間 時後ベニエ酸相は記者閣に動し左 一次定するに至らず酸酸した、酸化したが、結局まだ月ほしい對策

自相は来る二十一日議會<br />
で大半が任期。<br />
で大半が任期。<br />
でいるので、月 中暦紀参談は来る六月二日を以つ

黎世多嶽一名訛二名で、これ等総 低能手記さをとること、なつでる 下本时で後任整議を設備中で近く 石山谷

八月で任期備 殆んど現参議再選か

「東京電話」自動車業者のガソリ 上當分延期ガソリン値 世は六日日石本社に協議館 臨時院内組織を開いた

「東京電話」或所は六日午即九時

民院一本資献暗像に先立ち

臨時院內閣議

動向を示す

注目される藏相演説

敗革の根本方針なりと戦争せると

【東京旅話】 政府は六日院内閣議

二法律案提出决定

は六日午後三時在城外人、賈柔お子の合門田中警務局長夫

「見るまで延期することに「長、同夫人によって別に行はれる」 改善整理の問題に関しては増記の「即ち号墓を担け同議をで増起の必証とげ實施を何等かの関 たに領策権の招待管は五大義務局 武統整理の問題と関しては増記の「部よりをして独自されてゐる、「記するのとして独自されてゐる。」 でするのとして独自されてゐる。「記り結果、取取すも日よ」。「自然節夫、五十名を領轄がす」「馬揚城政」の説明を阻べするに第二成するのとして独自されてゐる。「なっその形の表記歌呼の劇句をは六日日石本配に解除數「人は六日午後三郎在城外人、賈樂 の脱跡演乱は、馬進戦相の豫算祭。直擔の不均衡を打印するとが武師。(東京電話)六日の深趣院本資融)じて財源の調整を匿ると共に國民 数字の説明を微麗にして

昭和十一年勅令第十八號承諾 組合民中敗正法

てゐる 病器門家道は窺りに顕をひわつ因は何かよりツチモンドの指揮

+

に各種 特別會計收支賣その他官 業收入並 的改革を 行ひ、又專

租税制度の根本

増加をはかることが必要となっ一計を加へもつて瞬節収入の 等につき 周到なる檢 地方財政は選計収支の均

は異常の緊張種に午後一時二十分 の段族院に於けると同様の施践方一 【東京電話】六日の架旗院本館線 | 陸算能に追加度第の内容につき戦 | 族院に於て述べたと同様の説明を | **援田首相及有田外相は午前中** と異女族就を試みれば「無取らず 々に力をこめながら即温たつより 肝の財政風新の技本方針を一句と

小山松壽氏民政資助 る否心にも拘らす、随民多数に

終るや、通街府により質問の第一なし、之れを以て國籍大臣の演説

精激なる思想が軍隊内部

臨時理事會を開き協議の結果、交「海峡時記送に關する要請を全領が開助的「都を観異」、電真血に、 左兵委託級子に関し保証金として委人 投源総することに決定した、 左兵を無拠名 五分利 関係指導の 六日も用減ら順額される語「五分利」の三字を除き、今後軍

H

有田外相

一確立に関しては御 二発謝) 齊木精一(昭和) 鴻上丈 かては山原展一(民政) 北竜吉 (第 部内陸相の各線があった

山副委員長は六日左の如く決定し 【果京電話】関族院の常田委員館 正副委員長貴族院常任 風見草 (国地) ふ娘さんがある▲彼女はリッチ 南東 北西 が止まらず一週 笑ひ通したとい

終る一寸削から細作的に美ひ出 一緒に蹶縮に行った最▲を出の 一緒に蹶縮に行った最▲を出の がという。 した▲その芝居は齊牌ではなく

棚子もなく▲笑ひは段々大きく ので家族を始め周囲の人々は呆 ▲却つて誤をそうる歌脳だった なつて行くのだ▲どうして可笑 部にとられたのであった。本然し その夜からずつと笑ひは止まる

傑作揃いの **宗新連載小説** 

はずには居られないのですと答 に可美しいことはないけれど笑 しいのか彼女に訊くと度女は別 ▲営ひも切らぬ中に軽げ出し

長 木塘真長 (研究) 侯 島津忠重 (火曜) 田所美治 (同和)

▲その内に嬢は次第々々に京職 ★での内に嬢は次第々々に京職 て笑ふといふ有様へな黙に包す が踏着も手が着けられない個く れた函数は踏者に診察を含ふた

眼をつぶつてニャリノーと笑か 問ける不派味さである。所が上 ど品壁状態に陥ったが全今度は に配った▲この美ひの奇病の原 铵层天街 水島政三郎の

日程を變更して先つ政府提出の
◆貴族院・午前十時本曾語を併き

**干二年法律第五十號中攺** 

世第五十四號中改甲改正法律案、

けふの雨

院驅

「防と産業との調和、助産的産業 薬の長典、香種繁急施設の政策

税師の敗革金融の敗議

の衝転的野心的態度に耐し近極の

民としては行政への帰心において 重要順手監を明示したるは、政府

加重さるべきず

の国革に努むること等、政策上の

つ取ら自や今、1、目後をඖ・ジンマルノ船目のオンテフたるてつ弊線に頭のもかわを神 かは塔の治。6るあで委集の號・リメ・ンイク船岸蚤のスリギイだったと王女の淳てつ代 乾比をられこ。6るので優客節的変代の国典は既行派るあで人飛に崩中。6るの像綱ンソ

といつても愉快である、やつばりな理解が深まつて来たことは、何

夏はアメリカで展覧館をやらうとらき好部を得てゐるし、又今年の

してゐる。私はこの頃やかましい

頃創作版廳に對する一般的 はなく、昨年プランス展覽會をひ

版畵界の近頃

しく述べることは出来ないが、

る石濱知行氏、例の二・二部論界切つての離厳家で補

評論家の嘆き

そのことについてこしで詳

の傍観音館なあこがれに外ならな

たん家庭の装飾としても重認がら 人の生命や生格に叶つて、だん

と考べてゐるが、しかし一部の騒 となど、もつとも日本人を理解さ

を技法的に複像しただけではどう 形式の追悼であったり、交、それ 反影といへば、これは最早や古い なければならない、ところが今日

海外に紹介するための日本版鑑と

その生れて来た創作版論は、多

取抗は神郎を聞くとか、お話を檻

の間もある外国人の日本に

枯鈍酸であり、そこが日 うした腹蹠酸を海外に持ち出すこ

| 國際軍僚の立場からいつても、 斯 の日本人に最もふごわしい生活的

の特理力級高級艦の極端に汲々た

那であつたのにも因るだらう 維着の腕もよければ機能も亦最優 競作数が二百萬卵であつたなど模

て最高時運一九二キロを出したも の流線型蒸気機関形が試速物に於

電気機関車では米図へ

御の女王ノルマンデイ號は三九

蘭西に鑑を置くノルマンデイ號は

造したクキーン・メリー號だ、

汽船 はイギリスで今度建

そつて国際新記録をめざしてそ

既に触れるものあるを思はしめ、

に立盟的科學の糀を集めてすべて

数突を極めたものである

**埠頭、その他の設備費を合**算する 彼なの建造器は三千萬邦、 し、これが建造の賃に設けられた 優沸にの狂るといふから質に

自動車界のスピード王はイギリス

流線型自動車

流線型列車

今のと

の岩鹽湖で改装の愛山ブリコ のサー、マルコム、キャンベルで

あるが、昨年九月三日米園ユタ州

バード(青い島)號を挟走させ、

ある、しかも行散、飛行後、自動車一粁コース)である、七百キロの超速

度を出した併園の競争用水上機の

持してゐるのは、最近ペルリン

そのスピードに於て國際記録を保一時運三〇一、

ハンブルが間の遍逸園看線道雷社「リエーバード號は重量五學生二三

世界人をアット鑑かした、このブ

一二九二哩を出し全

の前に矢臓早にお目見得するので

られたアルヌの四六九・二千中八百

ける各相の演説に出して、

の形式を異にし、内容も所能所

及監相の海跳は、

従来の滅歯にお

部頭における首相、外相、陸相 議會は貴族院における首相の

針演説に始まつたが、今次

はシュナイダー探護技の世界記録 富分これが海の女王であらわけだ

六十九回帝國議會は、極々六日。

異例の思き敷置を賜り、

首相の演説

社就

**温院証此は固より一般國民を暴け** 

関議を聞くに至ったが、貨幣

| 異常な緊張を以て此の日を迎い

力をもつて完全に海の王座を葬還 | サザンプトン……ニニーヨーク問 ン・メリー號は超速度三二節の威

ざす超速度交通機構の語である

その主握において今後の方針に 標を呈示せられたるかの感をなり するものである。そして各相とす たるとの信念に對して敬意を ころありたるは、塩田内脳出 步の成功といはねばなられる 駅间を暗示し、 國民はある指 が地下の時局が如何に重大

であるかを力配して、この際国際

脚せらると點あるべきを以て深

リー號は時速三二節(平常)最大

十二分で機廠し、その時運二九節 (三二九二進)を四日と七時間四

を見る科學

力の浪費を防げ

例をあげると、人が新聞を避むと | 三つが相互に密接な) ぱきれてゐるのには影く、卑血な | 明』「心理生理作用」 例をあげると、人が新聞を避むと か、児童が勉強するとか、或は主 婚が過物をする場合、時でぎるに

始めて物を見る事の研究がなし

係をもつものであるか

すり滅らしてゐる狀態である の能率を減少させ、 が、最近「サイエンス・オブ・シ しれまであまり考へられなかつた この防止法 生涯を徒らに については

人々の観心が向けられるやうにな ると同時に、次第にこの方面へ イング』即ちものを見る科學が |究し、心理生理學者はそれ等の作 用だけを研究すると云ふ風で、 究し、 電気技術者は原明だけを

は、昔ながらの方法ですが、

した脚がほしに、しつかり 物を繕ふため 方のコ ソクイ

『視力』「照」るのを未然に防ぐ方は」とのというのだった。 殿科部の方では親カが減す互間の連絡は至くなかつた、即ち ると眼鏡で矯正する事

職をかけたといばれ、その顧覧が 馬ドルの建造質を使つたのに嵌べ るには二萬五千弗の費用で充分 コット、エンデバーや米圏のこいよ、緑晶記録をもつ英圏の ト、レース優勝艇が何れも百 時運四百年の自動車で製作 ース居島速度自動車とし

・オン・メリー號の出現

まる

海の女王の英佛交代

さて飛行機と自動車は

は案外安いものである。だから

| \* タ\* \*\*\* 明るさをどの征増せばエネルギー

見えればそれでよいと云ふだけで 餘り注意しない、電気技

のになってしまふではないかと云

燈代をほんの少し増せ もので實際は毎月の電

武

を早めてゐた語が多

組滅である、できの方法として、 する事は舒成都原間には出来ない

や鬱鮪しい天族の折には、その時 精神病のうちには躁ぐ病と驚ぐ病

大野重一郎著一座神市焼肉三百貨物入田・中等の代数で理解出来る本▼数式は後人野重一郎著一座神市成功量が開から、ありよれた日田町で要数が一座近の水池では、ありよれた日田町で要数が一座近の水池では、大田・中等の代数で理解出来る本▼数式は後

の各計測上緊要の獨創的新刊

大きな影響を與へるので、風の日氣候の變化が神些派の人産に相當 はその謎作がひどくなる。明かに

なエネルギー にも、近鎮陽明顯像省が綜合版。によって遊歴代は僅少の増加です

究の結果、從來用ひてるた時に

いが、七月頃の護病はごく少能で方は三月頃の護病が少 多いと云はれたものと見える

同病は感覚の病であり、

- 得る一質はあるのだが積柳病と神器数据

されてゐるのである

號月五 觀題問新

命神經と密接な關係のある病症と組行關係等のある病と云はれ、生

でに、すりつぶします、いしつぶし、ブップッがない 上に、御飯粒をのせ、箆で押

の作

のは暑いのと蚤の多い事も胸密がた所七月が一番多い。七月に多い

あるだらう。眠り楽の少くて足り

春から夏にか

正宗嚴敬著植物地理學(顯羅德)與羅德一世

亮著 植物利用環境測定法 (輻片) [編集] [

懷兵著 教育植物學解說 (點翻的) (難翻的) (難翻 ) (難翻 ) (對觀 ) (對觀 ) (對 )

には砂糖(どんな配類で

8の字が好きで自動車番號も寄せ 八の字好き

のどうすることも出来ない世界を一物ばかりを描いて、少しも城代の一 いやらに考へられた。 洋人が古い時代の日本版版に興味 そのこと、併せて考へても、西

岩槻信治著 改版格作實際論 (關於語) 了關於語

高木俊藏著教育動物學圖講《羅蘭點刊》與第三十三國東大衛,羅河土高等動物學圖講《羅蘭點刊》與第三國

光と質除了上にはた役立つ見取優誌 環臓計量の大部の経過 音楽者リンゴ栽培。實際(職職職)に対策とは

**最後に、今、日本でこのやうな** 

▲丸山定夫氏 Pじし映画「我旅 村田勝一氏「文母案内」競扱の 廣曲製集中間「新大業護期商」 を破表すると

版管東京二五七〇〇 會社 美女 とり、上二 | 副巻 餐芸行者に落号

のもの、つまりギラギラする 接目にはいらない構造いのがよく、光線が直 まぶしい感じをおこさぬ物を遊ば いる位のスタンドが理想能のものしないが日本紙のは最も軟かい感じ スダントの笠は大き

鼠害で桑園白骨と化す…

なければならない、窓の総轄には れは一番服の骂めによ

日本歌と組布とパーチベーバーで一 倒子、網布、セルロイド、パーチ メントベーバーなど風々あるが贈 君薬時と

屋ではスタントを用ひる事が

限らず、天井窓も日本紙の原用の であつたのである。中味の難場に

精神病は増えれば東時と一頭脳

神經衰弱は増える Эš 號門創證誤頁百

機械及電氣纜線 利智の泉、實地の師、學修の友!! 上頭針輪が翻きに調

明細な規定が関係となったがこれ

一技術上の調査の低に供るべく確 家属健聚許可に到する建築其他

遺跡務建築投手として吉村徹氏

【悪山御】道内かり選択され東京

ヶ月程遊んでみたい氣がしたよしは京都だ僕も予和も持つたら一 いであるかといへば先づ工事、内地の登録ではどこに主力を注

ぞれ自分に有利な解釋をしてる

任命され、一國日中に晋任

咸南各漁組

た開発器山脈響懸岩長の土産話を

去る一日曜年し

題され、市部による立場移跡に出 題則は去る三十日 附近令で公布實

取締に關する市街地計売令施行 職事」形象、自民帝軍の薬師を

内地の警官は民衆的

朝鮮に比べて氣慨がない

鹽谷惠山鎭署長の土産話

家屋建築 羅津市街地

米これが腹壁につき調査中のとこしな難つて今年は超過を切めその他しげ、それに代づて「肝霊り敵領をなる、道尔鹿域疑動向洋鬼は光殿、ほおいて射一ヶ月鑑れてゐるとい」となし、漢王素孺の築綬を二等下ゆる、道尔鹿域疑動向洋鬼は光殿、「で例年に比し二度以上も殿、李節」の如きを禁除することは以ての外もと大きな期待外れにしけ込んで「で例年に比し二度以上も殿、李節」の如きを禁除することは以ての外

一腕梁の四十二銭一雁七毛から五十一門、それに代つて一戸書り数額を

【城岸】城建立海の勝漁は漁用蓋」よるものと歴史した、開船の調査「であるのみならず商工業者と権制

となってゐるのに比し本道は百個 を失し、京飯道の発展館が三百個

5以来近年編立不通額きでこ、 によれば水温四月末坂在六度一分 生活者との間が不均衡で、金宅料

專任技手任命

團の演習

坡州兩水防

鱒は大不漁

出年後一時四十分から公開して開戦計分科賞で影響して来たが、四 いれた道税戸制度の賦調率直定を 【平選】平屋府館は去月二十四日

語識の結論として平安層道の

漁期一ヶ月も遅れ

今後に一縷の望み

|改山|| 坡州郡坂縣、交河の雨水

中間十時から金石聖校を建て聯行 採里州消跡組と総合して来る九日 の関では、政心後第一回 い門を交回 らなるボーイスカウトの建國程操 いは三百餘名の中初等學校生徒か

城津近海の

と生徒の部長哲学競技館であった

国民有志も招待し非正な協匠であ

「悲山龍」処岸長白郷郷では去る

長白の祝典

日午前十時から塩の陛下師前日

常配典を駆行、常日は恩山鎮の

た、なは當日物に第目を惹いた

御訪日記念

で各盤林器は国策に腐心してある

どら納まるか本所長称局の指

不楽者に動きが取れれ、このとこ が越境就楽するに至った。新盛州

は枕木間たちが輝く、上流の彫

これを腕続館に保護方を順出た(鶏成はその三面) 一尺の立脈なもつで耐八百年以前の遺物と戦期、鷹橋氏は一尺の立脈なもつで耐八百年以前の遺物と戦期、鷹橋氏は これを腕続ならつの原体地に減続期の空地に破に顕だけ出

**順層に際はり新碧暖でされ**十二

名が南洲側では五百風、而も五

八百年前の石燈籠

財城府外で掘出す

西班马尔面 (開城) 渊

祭は花に魅けて歩兵七十二線隊の「◆」「『南」軍師羅闍の聲を謳い軍队

山砲ミ騎兵

均衡を缺く月別税

で大鉈輝はる

**个合理極まる賦課率とし** 

して國境の木材業者だも悲鳴をあ

羅南兩聯隊

木材業者達は悲鳴をあげ

営林署でも對策に大頭痛

悉く對岸

れた、十月頃に酸工の漢定である

なぎ合せてやつと廻ったさうであ さき頃當地の高等女學校上競生が 算) 十五萬圏(初めは三十萬圏の景|

【曹雪】工長隊では今夏から郊外

會寧工兵除

ル使用を許すことにしたいとご備

物の一大規散地としての米部新興 ある泉都にして文養海温四部の設

たのを高援とし右現金を省は、う

たのを奇銭とし右頭金を音減、う「鼠類染も不能となり、地方鏡頭を可事で頭金受取方をいひつけられ、そ一颗九十歳に節上げしたため家頭をいひつけられ、生一颗九十歳に節上げしたため家頭ののでは一大小鏡点度の作地科

「信川」 居界格を出て配過途上に

信川は二、三年来の監村最常の波」ち六十風で龍時計や靴を買ひ、め

難されてゐる

會役

に乗り市街の膨脹繁晴らしく酉に | かしこんだ上版日ハイヤーで雄悲

来に延びつゝあり家屋の新築や<u>部</u>に飛び、同年後二時卅五分誤朔山

原他に達し、この分では本年総子 | に避難された

知覧に動語 るものである

主金を失敬

「工屋」 商業學校設立高的全は既

田口代馬、同大林於閔井雕二郎 部立殿、同時以公司林之殿、所述、 孫華原川親雄像道一、周松本皇 孫華原川親雄像道一、周松本皇 新北殿、同時以公司林之殿、 「日日代馬、同大林於閔井雕二郎

「鎌尾の三分の二以上即ち六萬二

し高飛び

· 三日 邑內心町谷安迎林所居員

闘めることを申合せた

の登日主家の立を総まうとしてる人間年を下働きに超、入れたがそ

ってきた朝野

光波氏は去月 開場

開一数「衆知物学の行方を型資中の金三戦へて難雇したとどこの望るところを主人が見つけいくらか

型

10-12馬力 50-60馬力 14-16馬力 75-90馬力 28-32馬力 40-44馬力 10\*)-120馬力

御一報次第贈呈 詳細型錄及納入先名簿 日日事が所で加藤政治を聞き即の

· 男

列車内で御用

門場加の見込にて他地にはちよ

こ見られない揺棄を売し間逃を

江陵商業の

では先版の總額で左の通り復興が [十二] 北西路峰

ルセ揮 発き

松の移襲新築、商盛の新築等大小

で、一面別方面へ高がひの途中監理

(筥真 右方ご本の 煙突に各々 生田金物店から威北自動車會建支」を進めてゐる「三氏所有に係る過丙本期」「1日元」,後月を誇り

メント、総動が必要なのか、左

上事に要した。砂利四百立方ウスません、昨秋行はれた地 基礎 これは全然地上から

校々舎を以張して無目敬君所が知 生一十四名を収容し、去る一日

生きた指導をせよ

好條件に釣られて

成程世界一の貫禄を示す

で結である で結である

學童にプ

ルを解放

今年中に千軒は大丈夫殖える

で湯

0

**系晴**しき信川の躍

進

價值々愈

鎭南浦名物日鑛の大煙突

女學生が胴巻きに 二十七人手をつなぐ

毎中 一年総育・、二二七要総称目動車を 大に懸行されるは十でそれと、称。国会己文"二が去る二日午後六時、夏山公園の企館を受けてあるが。」に取り定してあるが、右土地の宅 大に懸行されるは十でそれと、称。国会己文"二が去る二日午後六時、夏山公園の企館を受けてあるが。」に取り定してあるが、右土地の宅 大に懸行されるは十でそれと、称。国会己文"二が去る二日午後六時、夏山公園の企館を受けてあるが。」に取り定してあるが、右土地の宅 大に懸行されるは十でそれと、称。国会己文"二が去る二日午後六時、夏山公園の企館を受けてあるが。」に取り定してあるが、右土地の宅 本地の宅 に於て繁地方を都能會局に陳常し
右土地曾社希認者は先胺來本年度

製修在を一つ幕でた對岸向土が連の交渉が寒山量で開始され、従来

十三日咸奥府內中等學校陸上都市陸上競技會(元山)▲六

水道敷設等のため各方面から多数

【悪山鰡】解氷と共に鎌道工事、

企業技事 四日茂 河南接逐迎り 一种接近的

水原支店次座)

徒步競走▲五月三十一日咸與三五月二十三日咸與<南間長距廳

広城で造られた影響観やッゲのス 門には赴戦高限の白春材を利用し 鼠では、日下各地から白羅枕の 到衷を蒐集中であったが、その

【草山鎌】去る一日から日南野便一内定した

思山局で交換一年度主要スケデュールを左の如く

歌島版を紹介すべく計画中の林を作製して盛く

の郵便

後一時から韓部協議館を開催、本

下水溝の整備なども一質に買売さ の建設、上水道の敷設、市區改正

せようと意気込んでゐる

惠山の住宅難

(清津地方法院检事)

不徳な地主

ケヂユール

惠山長日間

の介紹戰赴

行・・・・ 登時日 | 在 勝字と氏の釈迦修養に關する講 | 大人口 | 連合の日標材を | 営及嶽波が鳳紅藤師、工類布教師 | 変きで脈につた | 寛禄 | 古代 | では、 | では、

### 年度主催、呂袋媛の下に四日午後一覧ひで一日はおめでたらと葉部の一躍推准の講話( (0種第1 青一) おうさうになつたので簡単には大

## 化の春は北鮮へ(藍藍藍藍の際)

▲延衛四千四百三十四▲三河沿昨年度の水場高は左の通り

「威奥」戦闘迫内十二漁選組合の

百萬圓融んでも見られない概を一沓業しかつたのは窓山鑑では

冷害對策の妙諦

平壌府會で修工名り次

解を求めて歴決に入り委譲長報告。青を三日鑑蘭署員が暴動不能の廉かとうカ矢によ』と底の應題に蒋一邑四號北湖崔昌男(元)といえ等働 101年30日い意気地なし泥庫! 「気の弱い泥棒 [11度]

足先きに失敬

拔目のない京城の商人

當局もびつく

微館のメンサーだが、内地標下 べたところ脱野東京市品川區大

殿越、平島、堤川、忠州の各方面 盤近めき!~

のて顧州までの自動単連絡協客物の地出によ 、の交通の便が四通八遠してをり

たわけである、なほ繁態的ではこ 新築など新興部分に溢れてゐるが の實現網繰工場の設置、超路器の 脱鍵道に揮を切らした代りには 一次實地測量が行はれてをり、 期三時長逝した、中間四時長逝した、中間四時長逝に入院加盟が山田強中佐は脳盗中には脳盗



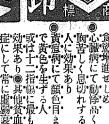












を保つこととして分科質を開け第 一銭「里五毛に上げて帰頭の均衡」「弦の結論に適合き、午後三時か」立ち「この壁正案は勿論尊重し 分科管にその結果を報告すれ

ば第二分科館もこれに合流して「は府理事情の主場として深秋に先 ら報告した。これに臨し高階推奨。するが、脱翼は道数、跳跳舞頭にら本館線に移り内田全庫委員長か。 宣誓局と臨跡、圓繭左解決に努力 振つて各職の資料を参斟決定した ものであるから道路局が推繹する

かどうか分もね』と府の態度に歌

[安來縣] 三日午後五時十分安東

安東縣でストップ

| 資置行「ひかり」 三等項内に認

▲八月十三、四日全町

単級展動を極表

岡山田一郎

羅南鄉兵

隊辭令

朝鮮神宮吹云野球、

二、洞小育四郎

原心 部

てゐるのを安東警戒が悪に取

一には川、和田文女(ご)の明名で何 れも奉天商屋地ダンスホール添天 町塚融解子でご神奈川縣足板下

長は去る一日夜料亭天一芳に在新伊 | 藤原県 【延言】新任祖 | 伊藤原長 【延言】新任祖

部分修加を命す(以臨南間的田正象 细多词、茂山伍長四勢河) 同零客思的政後通好、顯南 一、沼津同坂本岩升保規、勝典一 (石升保規、勝典)

9 明を命ず、以上一日射) 明を命ず、「以上一日射] り 明を命ず、「以上一日射]

変護週間

見重要整選間に郡及び邑の主催で 「江屋」去る一日から八日までの

江陵の見童

の一個では、 の一個では、 の一個では、 の一個では、 の一個では、 のでは、 のでは、

受用者ノ聲ハ機械ノ眞價ヲ語ル 様 型

子" 3- 4馬力 5- 6馬力 7- 8馬力 10-12馬力 15-17馬力 盘料燃

ンチンエ ルセ 現実ニッチカ馬ー向時ー ルセ

14—16層力型

16-17馬力型

50-60.周 力型

98-82周 分類

青を描いて近く解習に取扱る語のため態々山東省革平縣から指導

錦上さらに花

支那人も仲間入り

京、組合政府六千名中物形質付金及、 のこれつた、同組合の十年度貸付金は E

歌器に沸く転都の積倍物を電

在の夏黛殿に、かけることゝなり六日午前九時か| 案第一案いづれも大呼に取つては

役は顔を明く街である。而して

第三案の大邱經由線實現へ

先づ大邱商議蹶起

選では見毛以生産を目的 | 適比有利な既に者服し本年度新規 見事来はその個盤言理が、事まとしてこれが飼養総飾目標を

忠北の新しい試み

【至山】角ヶ米の重量制採用に関

### |登山森物語担合では五日午明十||午後||三時数音した た組合戦代表の距過報告があって

### 五月十八月鏡川▲同二十四日年 ▲同二十二日朱統▲同二十四日 曼恩

### 首魁李星七に懲役五年

### 清州」思北道では今殿、林梁の

経延を育け省山清水の進捗をはか

# 法人組織の患者北道山水管を - 6模符院へ申注した | 「する孤峨が祭って二十分間休飯の様子は野崎 - 2 は去月末大例から壁布した西鷺 - 超調は町は続った二名の被害に耐めては、カードに基されるを推薦・豊富か - 超調は町は続った二名の被害に耐から

### 不評を再檢討、近く成案を得

並に昭直反、緒級五○○反「伝統書」根語處では本月中心。2 反、大郎生命二二反、大 一統一等の 印紙 検査である。 副職師すれば 一種の 副職師すれば

豪華プログラム

乳幼児審賞時は、自正年から公司 【仁川】乳物児愛護護間の脂し、

、明き、受害時見男五十七名、

大打撃でもし實現の帰は産業の大 、た大邱産業組合の出現は既最の

四日競會汽

田道衛生郡長から協館設立に關す

**「扇の八割四分二厘に比し六分万」人であつた、女はトラキーよが五** 前年 名を占め、性病は四名これも支那

手提金庫泥

書で教化運動 地方を巡回農振に拍車

【大昭】道社曾保では従來の好誌 | けに端林間に内部革正の聲が機関

とり最も完全な原法です。取る人

る事が、患者にらした信用あるる照像内服繁

事が必要です。

勝ての他の職器に好結果を置すなしかも全身的に慌估力を増し、胃 ど、風に極策吸門類として完全な

間に登まれ 一生、 斯くして

明の様様であるが、心田の乾運動

仁川】本配では仁川面圏の振い一援助を求めることになった 船業者の意見聽取 Bで定時飼育を開催 東京では三日午後一時から東公(R)を育ってあります。 東京の東京場であります。

和の共販高

場る岩頭

|||痛に悩んだ朝鮮繊維

田出海の努力至しからず返還はれ には恋らく相撲。 全職を翻議を重ね徴戯霊郷を行つ、つたため何人の時代の縁盤かも不、草小賀人の正備展飾夏技質を配く、一人のみが知(は二日午後四時から職時懇談を明)志の職は正式の引縄ぎをなさたか。順十五間年記念事業として市内塩く一人のみが知(は古ることになつた戦極重弱合で)三名の道。政が誤談。されてをり底、【清景】県京阪僧房では観賞育賞

ば氏は癌山社長と国談中であつ

十日結團式を擧行

結成することとなり來る十日国内

二年間に三る犯行

低ならぬ事ですが、ベルツ丸は製造 中する統領は、無深能にも名へねば 一般歌の線な、相意永い時日を要 が対は、海外警 れませらっ 栗猫の異質を物 出しついありま 、東洋諸國は



水原】桜に去る三日の日地はが

## 梅毒症狀の慘害

治療は早く最後まで



が緑時期が危険

の再發惡化

ベルツ博士 を患ぶ會

浴してゐる線で、博士を偲 又一般民衆にとつても、陰 が、我が國際出界にとり、 の巨星旋起の許に、光般上ルッ博士を偲ぶ雷が、勝昇ルッ博士を偲ぶ雷が、勝昇 のがあつたと申されます。 野精選軒に開催されました 公此催しは、破に美しいも

梅毒と體毒 梅毒性吹出物に

たが、要するに

「無言の名聖

財政、不純な

SUL PRON-SE ウマナス、超長の皮膚病 が、関係は、道界極難、す しつ歌、ひえ歌、せきずる 梅電 體準、頂班、極枝、

朝鮮代理店 极替更京百五番· 园話茅場八十番·九十番 京城船…新井・木村・笹山府… 大黑 藤田

にかけては、獅一

(可認物便郵酬三第)

北 陸 富 市



**社會式株酒麥鮮朝** 

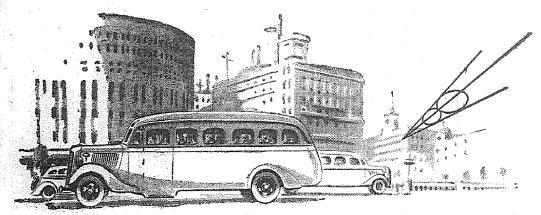
### 低床式パスシャシー登表 ホヰールベース 131时 及び 157时

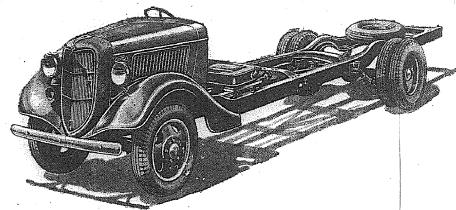
御嗜好がなん

ヤ・ファ

承知なさらぬ

れでない





弊社は今回特に日本向バス シヤシーごして本格的 な低床式のホキールベース 131时と 157时のものを製 作しましたからいよいよこれを各位に提供致します。

是等二種のシヤシーは最近發表致しましたホキール ベース 185时のものに加へた新製品で、フレームの高

さがボデーを架裝して地上 610粍以内のものを御希 望の方々のために特に設計したものであります

これ等三種のシャシーの内より各位はその運轉狀 態に適應した最も優秀で経濟的なバス シャシーを 選擇されることが出來ます

横濱 日本フォード自動車株式會社 子安



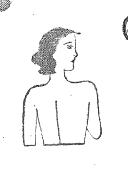
フォード特約販賣店

イトウ 高 會 丸 大 商 會 海津府獺生町六 全洲府本町一丁目

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府柴町一ノ四一

平南自動車商會 平壤府濱町五

楠本商店 京城府若草町大通



ま



が

この作品の内容に非常な興味をもち脳伯自ら進んで銅を深いものがあると信じます。 挿物は「人生調散」でお馴染

島地、もら一度参ってみたいと云上思いが預りに動きます。
新娘の此の頃、朝鮮の空は、一人鮮やかに美しいとゝ想像してゐます。

くなつたが、出るにしても二百一つたら道で返してくれと約束して「産もに電話でその間違いを認めたとの折合語うく、問題に居つ「苦面して立香へ、開女が京城へ総一来たので、ぴつくりした韓さんは欧英翔さんでのが来て関もなく」の舌類を致えてせる、くこことは、東北ので、ぴつくりした韓さんは欧英翔さんでのが来て関もなく「の舌類を致えてせる。くこことは、東北するとの方面となった。

図女は / 知らね / の二天型 b、 直ちに電話でその間違ひを記す

に、聲さんは謎をのんで数日削組

義理を**関れたその態度** | 然たる將軍の第**要**はあたりを

**し翻べると、関女はその間京城の** 

ポ氏を任命

不学ライン九石人 Marsサイズ九石人 アニサイズ九石人

腕腕懷 時時時

計計計

透波

調費

悲嘆にくれてゐるのに

い、手既一本すら寄来さない

京城から同地へ來た京城紀世。総にはなつた身を職って女翁生活。やうやく百國の穹瞀と『百國全部智顗記女』線昌卿さん。「人は、『信仰し、自気も薬説を数はんと女』にをした結果、『月中仙に至つて

の苦境を致ふてやるべく二百圓を

平に泣く女給が後理を忘れた題| 風の削借にしばられ

が相手に渡の武脈側ひを調査署

の」の挿簾も私が書く事になりましが、今回更に引蔵いて『寄を待つも、大字島の皆さ心にお目見得しました。大字島の皆さ心にお目見得しました。

ついいて本山間二等営選山下ハル子氏作「春を舞つれて催くも関八日的展刊を以て完結いたします。司れて催くも関八日的展刊を以て完結いたします。司を作氏作「人生離断」は発覚襲称の総語の関に認ら

したが、選紮就心魔、人米正雄用氏の推魔により特然は小説ははじめ一等のみを採ることにしてありま もの』を連載いたします、御承知のやうに本社の右

集中であるが、六月十四日本府に即愈される全鮮 下一院、二院に陳列する出陳町を全鮮各割より蒐でモダンな経版コンクリート、周別な二院建で目 終へたが、流石に半原民策繁発心の要徴だけあつ。製成が聞へ引渡しの手續を

用品、従来犯罪に使用されたもの、血に彩られた。日間、従来犯罪に使用されたものは膀胱から指数、各風繁彩 醫療部長質謝を機関に除大な経成式を終行の智で

| 一種要三百四十萬團を計上したが、 以て 勝腕戦士 輛 窓戦(温歌 急服・時を搬充するため今年度度算に戦 「明確選を逐機能大百七十萬國を下したが、 以て 勝腕戦士 輛 窓戦(温歌 急服・など 放射の 変更と

秀容単の新造修績を主として進むるが、釜山は貨車修織、京東は段

威風堂々と入城

伊軍直ちに軍政布く

工場の擴張 を急いであ

これと別個に百萬圖の一するため

年度以降の単綱質層質像第三百

郷道局より 目下 福見工作歌長が棚を今年中に示道することになり

郷打会せ中である、この大道戦部、殉職して名響の豊奈氏功労章を受界上吉田總道局長と製作その辦籍 遺骨期 目通過 選骨 明 日通過 故安藤明川 署長

した、強能軍制令国ルドルフ・パ 二十五百名は、五日午後五時自動

数ふて裏切られ

多給一族の説諭願い

不信な女は今轉々

夜(からりと人城、先つ夜壁を見て 土産にするといふ、このりスは軽いの壁と相撲を見たさに五日 苑に常贈し、健はスエーテンにお塞恵をしてゐるベルグマン懐子は「飼育方をたのみ、その内三匹は賦

は平北で掘へたフライイングスコ一根のやらなものがあつて、蒸筒は 行でまた服労権に即つた、厨限士 信もあり、最色で提は丸つこく羽 八日は旭町で角力見物をし間夜夜 しいもので大きさは碧頭のリスの

既容以來光化門通りに七萬圓を投じて晋工した繁

| 平北龍岩洞、鴨様江附近で島岬の | ール(飛ぶリス) 穴壁を | 開発に | 眠つて るるが変は 二十メー

べ博士が捕らへて昌慶苑

侗市方をたのみ、その内二四は同

は飛び上つて餌を探しまはる

けた各組のトーナメント式優勝戦 網 洋(りり出し)りであつた。主義では第四組に分 第一組一回職 左どの際見で初けなから十分の人 中 入

愈ょ局鐵、六百七十萬圓

一種を制造

答貨洪水に車は大不足

て各壁校とも慰謝数は増加 上り、これに馳した管融版正案も「戯は五月十五日晩決定する見込み群の談元と生徒の自然増加 | 池中であつたがこの程成案が出来「収容生徒數は七架級で、校長技験で

東大門、西大門南醫器署副、蓮築・事は左の通り

京城驛削、安國剛、釧路四丁目、

ことになつてゐる、個問週間の行

光化門、府総削、鮮銀削、南大門「部に交通安全宣機能を掘揚させる市一層に行けれる、軍では本府削、配布、京城府内の自動戦・電車金

**公通開は十日から一週間高東空・眼・煙草カードナ真皮を作成して「二、自動車重に自轉車資票除生を目断とした原設道無途の交通(原ビラ 土真皮・原形子三萬五干」(同紅手催)(同紅手催)を設ける外、原際ポスター五干枚」、永平動類優良運轉者表彰式20連事故の駅正と交通卓護の勢及」を設ける外、原際ポスター五干枚」 午前十時來骨閣** 

盛り澤山な事故防止のプロ

我社も協賛して交通慰霊祭

京師同女師は學級を増し

が擴張

全州にも師範學校を新設す

**暫を行ふ、その記載概要次の通り一** 

海軍省公表 今秋 大元

年度特別大統郡を左の如く公表「東京電話」海軍省は六日昭和十

海軍の費力を涵蓋充實せんとす。 たに母説、全州師範囲様六月一日もつて國防の第一線に立つ帝國 てに母説、全州師範囲様六月一日都領練と離婚兵器の試練を行ひ て京師二駅総、順と師三駅総も新 たに母政・全州部を同様六月一日

中山兵曹事件

見越して生徒緊集の入學試覧は濟一め公理医の空寒既然一 節とも堕め六月一日からの題校を 全州師 範を始め京師、女

(午後等時五分) 同童町 ローラデオ放送、交通官僚

激しい申合せ(きのふの相撲稽古)

**警機 松 乃** 

全府その他の映画を跨版で記め、第二般百七十名は全野鮮の趣識を **地勝から自動車の終列をつくつ** 

淋巴腺結核

▲化鵬性の危分なグリグリム連球状の頑固なグリグリ

花柳病專門

### 時列車で大連へ向つた は自由行動、府内を散策して午後 海老名翁

式帶鉄荷造機 守鉄線荷造機 拔\*荷絕对防止

連馬(3)は主九八京城府岡崎町九

日午後三時二十分京城職者列山で老名頭正氏局夫人みや子女史は八 に出かけ來鮮する宗教界の元老師八十二歳の島歸を以つて鬱诞行師 館、本府その他で講演をなすがら 府王館で『新日本制神』と图 入城、翌九日午後七時半から京藤

△荣養を補給し、心臓力を强め。

(スポープ、ハイキング、) (教務、競學時等の疫等) △心臓疾患、虚弱騒質、二日酔に

者効を奏す。 90歳 .50 50歳 .75 100歳 1,30 500歳 5,00

ラヂウム 製薬株式會社 本批 東京・京播 出歌所 京都・福岡・本天

精力、體力を増進し、 速に疲勞を恢復す。

大龍(〇より切り)。

優勝戦

(中) 理 や子女史も九日平後一時半京地長 (中) 理 や子女史も九日平後一時半京地長 (中) 理 か子女史も九日平後一時半京地長 の講成を終り平版に至り引起十四

坂の小梅さんが 夜國境慰問 の放送

なつた、歌謡曲目は塚長さん、伊一日公式に避衰した、鬱蟄の任命に私で趨境無間の放送をすることに「ッテ、ボッタイ氏を伝統する習べ は七日夜八時四十五分からり、出他中の休暇ローマ知事リユーソ 八時四五分DK から

3

かだるる

の

東京 金献園也以上 金献園也以上

各頭店にあり

に會宴御 に交社御

 $\mathcal{D}$ 

+

\_\_\_\_

方

21

血效应应应的三型学

# 巻

說院

理学的原为科新設

朝鮮為政會では第五回為成形院會 九日から四日間 3



明春三月から





社會計時ムサルオウ國米 器三十八曲路科局便郵夹中京製

電景以思

精鋭百五十隻の艦艇参加

**交通宣傳週間** 

(上海六日同盟) 中山兵暫專件第一

第二回公判

京城町 朝鮮 舘

自動車の一齊取締、無燈が

>第五日(十四日木曜日)歩行者

撲初日

自動車並に自轉車宣傳除午後

關西相

銀音の鑑成で華やかな量ときと、 の打込みも動ましく原味他町本独、担接当路で輸出三組の短折戦は人 の打込みも動ましく原味他町本独、担接当路で銀行された、この東、河を呼び、本配お好み担撲北底、 香味内を地で銀行された、この東、河を呼び、本配お好み担撲北底、 香味内を地で銀行された、この東、河を呼び、本配お好み担撲北底、 香味内を地で銀行された、この東、河を呼び、本配お好み担撲北底、 香味内を地で銀行された、この東、河を呼び、本配お好み担撲北底、 香味内を地で銀行を対して、大日磨太瀬 に火の出る線な接戦を見せ、京電 可要品(原子がかり)陸奥里 

はじめ新繍の監督と なり なり の各総道で掘の製作整織室を向上 同三座辞編型大分に贈還の書 (を修ぼせるはじめ新繍の監督と ) おり の各総道で掘の製作整織室を向上 同三座辞編型大分に贈還の書 (なりの 赤坂系炎至さんにピアノ二酸空鰕 **竹相 根 舊三 打 道**自頭山前の五つで、伴炎三映縦は 翻髪の第一歩を贈み出した 沢町、お削悶へば、アリナレの月、 よつてムッソリー c 計首相は寵後

條第二項により六日宮報を以て指 は史蔵名勝天然記念物保存法第一

寫眞展覽會

格見を召り 村之人面一

東部田田花園町 山崎 帝國 は 有一人 八 日 大 の 一月 二月 五 月 一まかできる 鷿

※ 京日案内

殿り特に豪山にて挑戦すが金は削納の事但就職闘が祖礼職職の事任就職闘が担託職闘をは一回毎に五十七字十五字誌一回五行一

公山 利子低下寸借り唇く 御用音あれば詳細四音・ が外とで新覚里二四一音曲 でした。 一利子低下寸借り唇く 一利子低下寸借り唇く

五旦日 青四日 五月二日

127 登 丸 五月八日 五月九日 各能共歩台二依り駿門南戸於る足 はル可ク候 大和組回漕部

鎮南浦、大連、天津行東原和衛、芝栗、大連行東原和爾、芝栗、大連行 利通號 **威梅衛、芝罘、大連行** 

富會

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等常選 禁篇斷上演映畵

| 「前」唱成 | 『行単年陽會 | 同・時一五・方 | 実庭時間| | 一・『行更生版 | 『行単年陽會 | 同・時一五・方 | 実庭時間

H

· 五月九 日 五月十二日 ・ 五月九 日 五月九 日 ・ 田 五月九 日 三箇座候間精々御利用額五月十四日 五月十四日 五月十五日

且

要 分(定